患者向医薬品ガイド

2024年11月更新

ゾリンザカプセル100mg

【この薬は？】

販売名	ゾリンザカプセル100mg ZOLINZA Capsules 100mg
一般名	ボリノスタット Vorinostat
含有量 （1カプセル中）	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」

https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

・この薬は、抗がん剤の中のヒストン脱アセチル化酵素阻害剤と呼ばれる薬です。
・この薬は、ヒストン脱アセチル化酵素を阻害することにより、がん細胞（腫瘍）の増殖を抑えると考えられています。
・次の病気の人に処方されます。
皮膚T細胞性リンパ腫
・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○患者さんや家族の方は、この薬の有効性や危険性について十分理解できるまで説明を受けてください。説明に同意した場合に使用が開始されます。
○次の人は、この薬を使用することはできません。
・過去にゾリンザカプセルに含まれる成分で過敏症を経験したことがある人
・肝臓に重い障害のある人
○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
・静脈血栓塞栓症のある人または過去に静脈血栓塞栓症になったことがある人
・糖尿病または糖尿病の疑いのある人
・肝臓に軽度および中等度の障害のある人
・妊婦または妊娠している可能性のある人
・授乳中の人
○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
○高血糖があらわれることがあるので、この薬の使用前に血液検査により血糖値が確認されます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

１回量	４カプセル
飲む回数	１日１回食後

副作用などにより、飲む量が減らされたり、使用を中止されたりすることがあります。

●どのように飲むか？

カプセルを開けたり、かみ砕いたりせずにコップ１杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。カプセルの内容物が皮膚や粘膜に付着した場合は、速やかに洗い流してください。

●飲み忘れた場合の対応

決して２回分を一度に飲まないでください。
気がついた時に、１回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は１回とばして、次の時間に１回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

・脱水症状（喉が渇く、体重が減る、立ちくらみ、めまい、疲れやすいなど）があらわれることがあります。脱水をさけるために注意すべき点について、十分理解できるまで説明を受けてください。過度の嘔吐（おうと）や下痢があらわれた場合には、ただちに受診してください。
・高血糖（体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲むなど）があらわれることがあるので、飲み始める前および飲んでいる間は定期的に血糖値の検査が行われます。

・血小板減少、貧血、腎機能障害などの副作用があらわれることがあるので、定期的に血液検査が行われます。
・妊娠する可能性のある人は妊娠しないようにしてください。
・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
・授乳している人は医師に相談してください。
・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。
このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
肺塞栓症 はいそくせんしょう	胸の痛み、突然の息切れ
深部静脈血栓症 しんぶじょうみゃくけっせんしょう	発熱、皮膚が青紫～暗紫色になる、手足の爪が青紫～暗紫色になる、唇が青紫色になる、下肢のむくみ、下肢の痛み
血小板減少症 けっしょうばんげんしょうしょう	鼻血、歯ぐきからの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
貧血 ひんけつ	体がだるい、めまい、頭痛、耳鳴り、動悸（どうき）、息切れ
脱水症状 だっすいしょうじょう	喉が渇く、体重が減る、立ちくらみ、めまい、疲れやすい、体に力が入らない、手足がつる
高血糖 こうけっとう	体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、出血が止まりにくい、体がだるい、体重が減る、疲れやすい、体に力が入らない、むくみ
頭部	めまい、頭痛、立ちくらみ
顔面	鼻血
耳	耳鳴り
口や喉	唇が青紫色になる、歯ぐきからの出血、喉が渇く、水を多く飲む
胸部	胸の痛み、突然の息切れ、動悸、息切れ
手・足	下肢のむくみ、手足の爪が青紫色～暗紫色になる、下肢の痛み、手足がつる

部位	自覚症状
皮膚	皮膚が青紫色～暗紫色になる、あおあざができる
尿	尿量が増える、尿量が減る

【この薬の形は？】

販売名	ゾリンザカプセル 100mg
形状	3 号硬カプセル
長径	15.9 mm
短径	5.8 mm
重さ	198 mg
色	本体：白色
識別コード	568 100 mg

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ゾリンザカプセル 100mg
有効成分	ボリノスタット
添加物	結晶セルロース、クロスカルメロースナトリウム、ステアリン酸マグネシウム カプセル本体：ゼラチン、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

・直射日光と湿気を避けて室温（１～３０℃）で保管してください。
・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

・絶対に他の人に渡してはいけません。
・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ＭＳＤ株式会社
販売会社：大鵬薬品工業株式会社（https://www.taiho.co.jp/）
医薬品情報課
電話番号：0120-80-4527
受付時間：9 時～17 時
（土、日、祝日、その他販売会社休業日を除く）